



聖書
テーマ
暗唱聖句

ヨハネ 5・1～9

ベテスダの池

起きて、あなたの床を取りあげ、
そして歩きなさい。ヨハネ 5・8

目標

失意の中からも立ちあがらせて
くださるキリストを信じる。

10月6日（日）

聖書
聖句

ヨハネ 5・5

起きて、あなたの床を取りあげ、そ
して歩きなさい。8節

「信じる」ということと、「信じたとおり行
う」こと、ぜんぜんちがうのがわかりますか？
イエス様は信じてるんだけど、イエス様の言
うとおりに生活しているか？ 聞かれたら「え
～どうだっけ…」ってなるよね？

それくらい、わたしたちの心は弱くて、な
かなか変わらないものです。

イエス様はね、いつも心の中を見て、思い
切って「したがいいます！」という気持ちがある
かどうかをチェックしておられるよ。

そして、「はい！」と従おうとするとき、イ
エス様が力をくださって、大変な問題でもの
りこえて行けるようにしてくださるんだ。

祈り

天のお父様、イエス様の声に「はい！」
と従えますように。

10月7日（月）

聖書
聖句

ヨハネ 5・1～2

エルサレムにある羊の門のそばに、
ヘブル語でベテスダと呼ばれる池が
あった 2節

じつはエルサレムの神殿の近くに、セラピス
というギリシャの偶像を礼拝する場所があり
ました。それがこのベテスダ（恵みの家）とい
う池です。池といっても、自然のものではなく、
プールみたいに、人の手で作られた場所でした。
池には、ときどき泡が出たり水が動くようにパイ
プが通っていたみたい。ユダヤ人も気づかず
いろんなことに使っていたのかな。

日本でも、いろんな文化が混ざり合って、気
づかずにまことの神様でないものに、心をゆ
るしている人がいっぱい！ 本当の恵みの家は
どこにあるの？ しっかり知っておきたいね！

祈り

天のお父様、あなただけに、しっかりむ
すびつけてください。

10月8日（火）

聖書
聖句

ヨハネ 5・3～4

その廊の中には、病人、盲人、足な
え、やせ衰えた者などが、大ぜいか
らだを横たえていた 3節

「こまったときの神だのみ」と言って、人は
どうしようもなく困ると、何も信じていなくて
も「神様！ 仏様！」という気持ちになるみた
い。イエス様の時代は、病院なんてなかった
から、よけいにそうだっただろうね。

ただ、お願いした神様が本物でなかったら、
どうなんだろうね？ ざんねんだね…

にせものだらけのこの世界で、本当にあなたの
心からのお願いをきいてくださるまことの
神様にお祈りするあなたでいてください。

かならず、神様はこたえてくれるから！

祈り

天のお父様、心にあるねがいを知って
おられるあなただけに、お祈りします。

10月9日（水）



ヨハネ 5・5

そこに三十八年のあいだ、病気に悩
んでいる人があった。 5節

神様にお願いの祈りをして、こたえがわか
るまで、どれくらい待てますか？ 一週間？
一か月？ 一年？ まさか十年！？

このベテスダの池のまわりには、うわさを聞
いて集まってきた病人がたくさん。その中に、
38年も、一人では動くこともできないユダヤ人
の病人がいたみたい。

ユダヤ人は病気だと、神殿で神様を礼拝した
くても、中に入れてもらえません。ぼくは神様
にも人にも見捨てられたんだ…そう思うよね。

でもね、神様はこの男の人を見捨ててはい
ませんでした。そう、わたしたちのことも！

祈り 天のお父様、どんな時も、あなたは見捨
てることのないお方です。

10月10日（木）



ヨハネ 5・6～7

「なおりたいのか」 6節

イエス様ってすごいよね！ だれに、なにが、
いちばん必要なのか知っていて、探し、見つけ、
与えてくださるんだもの！

日本でも、迷信とかジンクスとか縁起とかよ
く聞くよね？ それをしないと不幸になると
いう考えや、何かを手に入れたら幸せになると
いう考えのこと。この病気のひとと同じ。

イエス様は、病気が治りたいと思っていてこ
の人に、もっと大切なことを知ってほしいと
思って声をかけておられるよ。

それは、迷信やジンクスなど、わたしたちの
心をしばりつけるものから解放されて、まこ
との神様だけにむすびつく、ということ！

祈り 天のお父様、わたしがしばられているも
のから解放されるために、イエス様が声
をかけてくださることを感謝します。

10月11日（金）



ヨハネ 5・6～7

主よ、水が動く時に、わたしを池の
中に入れてくれる人がいません。 7節

悪いことが起きると、あの人が助けてくれな
かったから！ あいつが悪いんだ！ と人のせ
いにすること、ありませんか？

この人もそうです。自分の病気が治らないの
は、あの人たちのせい。だって助けてくれない
し。ああ、ぼくの人生はもうだめ…

そんなときは、イエス様の声かけを思いだし
てください。「あなたははどうなりたい？」

イエス様の手は、いつもあなたに向かって差
し出されています。そこに必要なのは、だれか
を責めることでなく、あなたの手をイエス様に
向かってのばすこと！

祈り 天のお父様、イエス様に手をのばし、立
ち上がらせてください。

10月12日（土）



ヨハネ 5・8～9

すると、この人はすぐにいやされ、
床をとりあげて歩いて行った。その
日は安息日であった。 9節

自分なんて生きてても仕方ない…とガッカ
リしていた人生が、イエス様にであって、新し
い希望、新しい人生をもらって、今までとは
なにもかもがちがう人生を歩き出す。こんなに
うれしいことはないよね。おめでとう！

そう、イエス様が来てくださったのはそのた
め！ 不安や悲しみ、死、罪、言い伝えにしば
られた生活など、全部とりのぞいて、喜びと希
望をくださるため！

もう二度と罪の中に戻らないで！ とイエス
様は望まれているよ。あなたにも！

祈り 天のお父様、イエス様がくれた新しい
人生を、喜び、感謝してこれからも生き
ていきます。



聖書
テーマ
暗唱聖句

ヨハネ 7・37～39
生ける水が川となって
わたしを信じる者は、聖書に書
いてあるとおり、その腹から生け
る水が川となって流れ出るであ
ろう。 ヨハネ 7・38

目標

キリストを信じ、聖霊の喜びに
あふれる者となる。

10月13日（日）

聖書
聖句

ヨハネ 7・38
わたしを信じる者は、聖書に書いて
あるとおり、その腹から生ける水が
川となって流れ出るであろう。 38節

これは、おなかにつけた蛇口からお水がド
バーッ！ という話ではありません。

イエス様がみんなにすてきなプレゼントを
用意しておられ、それをもらったら、自分の心
の中だけではとてもおさまりきらない！ あふ
れだしちゃう！ ということです。

そして、それをもらうための最初で最小の
一歩は、「イエス様を信じる」ということだと、
イエス様からのメッセージです！

そんなプレゼント、ほしいよね！

いの
祈り

天のお父様、イエス様がわたしにも、よ
ろこびいっぱいになるプレゼントを
用意してくださっていることを感謝し
ます。

10月14日（月）

聖書
聖句

ヨハネ 7・37
祭の終りの大事な日に、イエスは
立って、叫んで言われた。 37節

このお祭りはね、ユダヤの国で行われてい
た「仮庵の祭り」のこと。仮庵というのは手作
りのテントのようなもので、昔々、ユダヤの
人たちがエジプトをぬけ出して荒野（水も食べ
物もない場所）で生活したときに使っていたこ
とを思い出して、水も食べ物も、命も、神様が
くださることを感じながら、毎年、家の前で
一週間テント暮らしをするんだよ。

最後の日はみんなで集まって、神様に感謝を
ささげるんだけど、そんな、みんなが集まる場
所にイエス様は立って叫んだんだね！ イエス
様の声を聞こう！

いの
祈り

天のお父様、イエス様が伝えたかった言
葉の一つ一つ、わたしも心から聞けま
すように。

10月15日（火）

聖書
聖句

ヨハネ 7・37
だれでもかわく者は、わたしのとこ
ろにきて飲むがよい。 37節

みんな生きていれば、おなかもすくし、のど
もかわくよね。しかも、一週間、テントで水や
命や食べ物のことを考えていたら、イエス様
のこの言葉にハッとするんじゃないかな！？

ただ、ふしぎなもので、ごはんを食べること
も飲み物を飲むことも、息をすることだって、
なんだかあたりまえって感じになっちゃうの
がわたしたち。

あなたが気づかない「かわく」ということ（ど
うしても必要と思うこと）は、イエス様からの
プレゼントをいただくのにとっても大切なこと
だと知ってください。

いの
祈り

天のお父様、「かわく」思いで、イエス様
に求められますように。

10月16日(水)

聖書
聖句

ヨハネ 7・37

だれでもかわく者は、わたしのところに来て飲むがよい。 37節

のどがかわいたなあとと思ったら、どんな行動をしますか？ 冷蔵庫を開けて飲み物をさがしたり、お水がでる水道まで行くよね！

それと同じで、心がカラカラにかわいてると知ったらイエス様のところに行かなくちゃ。

心がカラカラっていうのはね。お金や、自由な時間や、お友だちにも埋められない、ぽっかりと空いた心の穴があるってこと。

ほんとうの幸せがほしい。生きてる意味が知りたい。生きて死ぬことがこわい。イエス様はそれを解決できるお方です。

いの

祈り 天のお父様、わたしも、イエス様のところへ行って、心の穴をうめてもらい、ほんとうに幸せな人生を生きたいです。

10月17日(木)

聖書
聖句

ヨハネ 7・38

わたしを信じる者は、聖書に書いてあるとおり、その腹から生ける水が川となって流れ出るであろう。 38節

神様はね、人間を、神様のかたちにつくられたっていうでしょう？ それはね、人はありのままですばらしい！ という状態だったんだ。でも人は、神様なしで生きていける！ と自分勝手に生き始めたね。これが罪だよね。神様があげたいと思う祝福の人生を歩かないのが、今のわたしたち…それでいいはずないよね。

神様の願いは、救い主イエス様を信じることで、神様からの祝福を受けてほしいこと。

世界とわたしを造られた神様の祝福だもの。あふれるほどのものになるってわかるよね！

いの

祈り 天のお父様、あなたがわたしにも祝福を与えたいと願ってくださることを感謝します。

10月18日(金)

聖書
聖句

ヨハネ 7・39

これは、イエスを信じる人々が受けようとしている御霊をさして言われたのである。 39節

イエス様の言っておられる、神様からのプレゼントの正体はね。聖霊！

聖霊はね、イエス様のこと、神様のことはっきりと教えてくれて、どう生きれば祝福の人生を生きられるか、導いてくれるんだ。

それから、弱くてわたしなんてもうだめ…って言う人にも、愛や喜びや生きる力を与えて、神様ですばらしい！ といわせるんだ！ その力は、自分の心だけをいっぱいにするのではなく、あふれ出して、聖霊を受け取った人のまわりの人にも影響を与えられるよ！

いの

祈り 天のお父様、聖霊を受け取って自分もまわりも祝福でいっぱいになってください。

10月19日(土)

聖書
聖句

ヨハネ 7・39

イエスはまだ栄光を受けておられなかったので、御霊がまだ下っていなかったのである。 39節

イエス様は十字架にかかって、みんなの罪の身代わりに死に、三日目によみがえって、そのあと天に上られて、神様の右に座られたでしょう。それは、聖霊のプレゼントを与えるために、ぜったい必要なことでした。

それまでは、神様が選んだ、ほんのすこしのひとにしか与えられなかった聖霊の力を、イエス様が約束されたとおりに、信じるすべての人、わたしもあなたも、受け取ることができるようにされたのです。

イエス様の約束の力ってすごいね！

いの

祈り 天のお父様、信じるすべての人への聖霊のプレゼントを感謝します！ イエス様、ありがとうございます！



聖書
テーマ
暗唱聖句

ヨハネ 9・1～11
シロアムの池での癒し
わたしは、この世にいる間は、
世の光である。 ヨハネ 9・5

目標

世の光 キリストによる救いを
頂き、キリストに従って生きる。

10月20日（日）

聖書
聖句

ヨハネ 9・5

わたしは、この世にいる間は、世の
光である。 5節

だれも解決できない「死」と「罪」の問題で、
まっくらやみがあるいていたわたしたちにと
って、イエス様はまさに「世の光」！

つまり「もうだめだ」と泣き、あきらめるだ
けの人生から、イエス様によって生まれかわ
って「新しい人生の希望」をみつけた人にと
って、イエス様は太陽のようだってこと！

でもね、イエス様の光を全身に受けたわた
したちもまた、月が太陽の光を反射してピカ
～！ と輝くように、輝くことができるんだ。

あなたが生きる間、あなたもまた「光」の
存在となって、多くの人を輝かせたいね。

祈り

天のお父様、イエス様からうけた光を、
まわりにも輝かせる者としてください。

10月21日（月）

聖書
聖句

ヨハネ 9・1～2

この人が生れつき盲人なのは、だれ
が罪を犯したためですか。 2節

わたしがこうなったのは、あのせい？ それ
ともこのせい？ と、起こったことの理由をさ
がすのは、むかしも今もおなじだね。

「因果応報」といって、ものごとが起きるの
にはなにか原因があるから、という意味だけど、
ときには、どうやっても原因が見つからないこ
ともあるのに、無理やり見つける人も…。

イエス様の時代には、人が生れつき病気の
は、その人の魂がもともと悪かったからだ
とか、だれか家族が悪いことをしたから呪いを受
けたのだと考えていました。さんねんだな…

こたえは神様に聞くべきだよ！

祈り

天のお父様、なにかやだれかのせいにす
る者から、あなたにこたえを聞く者にし
てください。

10月22日（火）

聖書
聖句

ヨハネ 9・3

ただ神のみわざが、彼の上に現れ
るためである。 3節

みんなが口をそろえて、つめたい言葉を病氣
の人になげつけるときも、イエス様の言葉は
まったくちがう「愛」のことばです。

イエス様は「ただ神のみわざが現れるため」
と言ったね。それは、その人が呪いを受けてい
るのではなく、神様がどんなに愛してくださる
かを知り、イエス様の命で生れかわって、神様
をほめたたえる人になるため、ということ。

こたえのない苦しみをしている人はいます
か？ イエス様はあなたにも、神様のすばらし
さをもっと知ってほしいとねがっておられま
す。

祈り

天のお父様、つらいことがあったとき、
それを祝福に変えてくださるあなたに
もっと近づくことができますように。

10月23日（水）

聖書
聖句

ヨハネ 9・4

わたしたちは、わたしをつかわされたかたのわざを、^{ひる}屋の間にしなければならぬ。^{せつ}4節

パッと心^{こころ}の目^めが開かれて、神様^{かみさま}に「わたしは罪人^{つみびと}です、赦^{ゆる}してください」と言えた人は、真^ま暗闇^{くらやみ}から昼^{ひる}の世界^{せかい}に出てきた人です。でも、いつまでも「わたしこそが正しい!」「わたしの人生^{じんせい}は明るい」と思^{おも}ってる人もいるよね。そのような人は心^{こころ}の目^めが開かず、自分^{じぶん}が暗闇^{くらやみ}にいることがわからずにいるのです。

やがて、人生^{じんせい}が終わり、神様^{かみさま}の前に立つ日^ひがすべての人^{ひと}にきます。そうなる前に、さきに昼^{ひる}の世界^{せかい}に出たあなたも、人^{ひと}のためにどんなことができるだろうと、考^{かんが}えてみてください。

いの
祈り

天^{てん}のお父様^{とうさま}、たくさんの人^{ひと}と昼^{ひる}の世界^{せかい}に生きるために、わたしも自分^{じぶん}にできることを考^{かんが}えていきます。

10月24日（木）

聖書
聖句

ヨハネ 9・6~7

そこで彼は行って洗^{あら}った。そして見^みえるようになって、帰^{かえ}って行^いった。^{せつ}7節

目^めが見えなかった人^{ひと}が見えるようになったのはどうして? イエス様^{イエスさま}がどろを目^めにぬってくれたから? シロアムの池^{いけ}で洗^{あら}ったから?

人^{ひと}は「だれか」がなにかをしたから、と考^{かんが}えます。でも「自分^{じぶん}が」イエス様^{イエスさま}の言^いわれたとおりにしていなかったら、どうなっていたかな?

そう、いちばんたいせつなのは「みことばを聞^きいたら、それに従^{したが}う」ということなのです。

イエス様^{イエスさま}はあなたを、聞^きいたとおりに行^いう人^{ひと}として、遣^{つか}わしたい! とねがっているよ。

いの
祈り

天^{てん}のお父様^{とうさま}、イエス様^{イエスさま}のねがっておられる「聞^きいて行^いう」人^{ひと}になって遣^{つか}わされる者^{もの}に、成^{せい}長^{ちやう}させてください。

10月25日（金）

聖書
聖句

ヨハネ 9・8~9

「わたしがそれだ」^{せつ}9節

ぜったいだめだ、とだれもが思^{おも}うようなことがいっしゅんで解^{かい}決^{けつ}したとき、「きせきだね」という人^{ひと}と「ラッキーだね」という人^{ひと}にわかれるでしょう。とくに大きな病^{びやう}氣^きがなおって、まるで別人^{べつじん}のようになったらどうでしょうね。

神様^{かみさま}を信^{しん}じる前^{ぜん}後^ごのわたしもおなじです。

なんの希望^{きぼう}や目的^{もくてき}もなく、罪^{つみ}をかかえて生きていたのに、イエス様^{イエスさま}にであってすべてが変^かりました! よろこびの人生^{じんせい}がはじまったのです。

もしあなたが「ほんとうにあなたなの?」と聞^きかれるほどに変わったなら、「わたしこそ、神様^{かみさま}のきせきのわざを体^{たい}験^{けん}したその人^{ひと}です。

(わたしがそれです)」とこたえたいね。

いの
祈り

天^{てん}のお父様^{とうさま}、まわりの人^{ひと}もおどろくほど、あなた^{あなた}のわざを体^{たい}験^{けん}させてください。

10月26日（土）

聖書
聖句

ヨハネ 9・10~11

イエスというかたが、どろをつくって、わたし^{わたし}の目^めに塗^ぬり、「シロアムに行^いって洗^{あら}え」と言^いわれました。^{せつ}11節

「今日^{きょう}こそだれかに神様^{かみさま}のこと伝^{つた}えなきゃ」と思^{おも}っても、すぐくむずかしく考^{かんが}えちゃって、なかなか言^いい出^だせない人^{ひと}もいるかな?

でも、神様^{かみさま}はふしぎ、だれかに話^{はな}すチャンスをくださるお方^{かた}です。そのときは、こわがったり、話^{はなし}を小^{ちい}さくしたり大^{おお}きくしたりせず、ただ神様^{かみさま}があなたになにをしてくれたか、神様^{かみさま}にであってどんなふうに変^かわったのか、起^おきたことを「ありのまま」を伝^{つた}えればいいのです。

その「ありのまま」の信^{しん}仰^{やう}を、神様^{かみさま}は祝^{しゆく}福^{ふく}してくださいますよ。

いの
祈り

天^{てん}のお父様^{とうさま}、むずかしく考^{かんが}えるのではなく「ありのまま」を伝^{つた}えることができまうように。



聖書
テーマ
暗唱聖句

ヨハネ 10・1～15

羊飼いなるキリスト

わたしはよい羊飼である。よい羊飼は、羊のために命を捨てる。

ヨハネ 10・11

目標

私たちのために命を捨ててくださった羊飼いきリストを信じる。

10月27日(日)

聖書
聖句

ヨハネ 10・1～15

わたしはよい羊飼である。よい羊飼は、羊のために命を捨てる。

11節

本物の羊を見たことありますか？ 羊は目も弱いし、すべてに弱い動物です。羊飼がいなければ、すぐにも迷い込んで死ぬか、恐ろしい動物におそわれて死んでしまいます。わたしたち人間も羊のように弱いですね。わたしたちのための羊飼はイエス様です。よい羊飼は、羊を守るためには命さえも投げ出すのです。イエス様は、わたしたちが罪を犯し続けて永遠に滅びてしまわないために、身代わりに十字架で死ぬほど愛してくださる羊飼です。

いの祈り

天のお父様、罪深く、迷いやすい羊のようになわたしのために命さえ捨ててくださった羊飼イエス様を感謝します。

10月28日(月)

聖書
聖句

ヨハネ 10・1～3

そして彼は自分の羊の名をよんで連れ出す。 3節

今週は、イエス様がどんなに良い羊飼なのか、み言葉から見いきましょう。囲いから外に出られるのは、羊たちにとってうれしいことだったでしょう。羊飼は自分の羊の名をよんで連れ出したのです。「メー太！ メー吉！ メー夫！ メー助！ メー子！」(わあどれもメーだ) 一体どんな名前がつけられていたのでしょうか？ わたしたちも自分の名前が呼ばれることって、何だかとてもうれしいことですね。イエス様はきょうも名を呼んでいてくださいます。

いの祈り

天のお父様、ひとりひとりの名を知って、きょうも呼んでくださって、一日の歩みに連れ出してください感謝です。

10月29日(火)

聖書
聖句

ヨハネ 10・4～6

自分の羊をみな出してしまおうと、彼は羊の先頭に立って行く。 4節

「さあ、広い野原にいつてらっしゃーい！」って、羊を出してしまっ、羊飼のおじさんは家でゆっくりするわけではありません。サーッと羊たちの先頭に行って、「ついて来るんだよ」と導いてくださるのです。羊たちは、目が弱いし、迷いやすいのですから。わたしたちのためにもイエス様は同じようにしてくださいます。わたしたちにはこの一日、一体どんなことがあるのかわかりません。でもイエス様が、ちゃんと前に行ってくださいるので大丈夫！

いの祈り

天のお父様、一日の始まりに、きょうもイエス様がわたしの先頭に立って行ってくださると知るのは心強いです。

10月30日（水）

聖書
聖句

ヨハネ 10・7～9

わたしは門である。わたしをとおつてはいる者は救われ、また出入りし、牧草にありつくであろう。 9節

ここでは、イエス様が「わたしは門である」と言われます。その門は、救いの門ですね。わたしたちを、滅びて行くこの世から救い出し、犯しつづけてきた罪から救い出すことのできるのは、イエス様だけです。イエス様という救いの門をくぐって入ると、全く罪の力から救われ、守られていくのです。イエス様という門をくぐって、出たり入ったりして、わたしたちの成長のために必要なものが豊かに与えられます。牧草、つまりみ言葉を第一に与え、そしてすべてを与えられます。

いの
祈り

天のお父様、救いの門であるイエス様を感謝します。罪を悔い改めて、救いの門に入って豊かな人生にしてください。

10月31日（木）

聖書
聖句

ヨハネ 10・10～11

わたしがきたのは、羊に命を得させ、豊かに得させるためである。 10節

コロコロころがれるほど、マルマル太った羊を想像してしまいますか？ テーブルの上にパンプキンスープにサラダに生ハム、ポテトにステーキに焼きたてパン、デザートはアイスクリームつきアップルパイ、なんてリッチー！ と思いますね。豊かな命はこれらのものを食べて育てられるだけではありません。何より、清い心と、何にも乱されない心の平安と、まわりの人への優しい思いやりが満ちた命でしょうね。イエス様だけが与えてくださる命です。

いの
祈り

天のお父様、イエス様を信じる時与えられる清い命、豊かな命を心よりありがとうございます。大切にします。

11月1日（金）

聖書
聖句

ヨハネ 10・12～15

わたしはよい羊飼であって、わたしの羊を知り、わたしの羊はまた、わたしを知っている。 14節

「わたしのこと、もっとよく知ってほしいな」、「ぼくのこともっとよくわかってよ」という気持ちになることがあるでしょう？ お家の人やお友だちだって、いつも一緒にいるのに、なかなかわかってもらえないなあって。でも、よい羊飼イエス様は、わたしたち羊のことをとってもらって、わかっていてくださるのです。詩篇 139 篇を読むとオドロキますよ！ わー、何もかも知られてるんだーって。では、あなたは羊飼イエス様をよく知っていますか？

いの
祈り

天のお父様、わたしのことを一番よく知っていてくださるイエス様をくださって、本当に感謝でいっぱいです。

11月2日（土）

聖書
聖句

詩篇 23・1～6

主はわたしの牧者であって、わたしには乏しいことがない。 1節

羊を飼っていた少年ダビデが、大きくなつてつくった羊飼の詩です。ダビデは、自分はちょうど羊のようだな、神様は、ぼくの羊飼だと、感謝にあふれてつくりました。豊かに養い、育ててくださる羊飼、たとい恐ろしい死の陰の谷のような中を行く時も、羊飼なる神様が共にいてくださるのでこわくありません。毎日が勝利です。神様の恵みと愛とがずっとわたしを追いかけられます。わたしは一生、この羊飼なる神様と共に過ごしますと！

いの
祈り

天のお父様、この豊かな羊飼の詩を、暗唱できたら本当に素晴らしいです。実行してみたいと思います。



聖書
テーマ
暗唱聖句

ヨハネ 11・32～44

ラザロのよみがえり

もし信じるなら神の栄光を見る
であろうと、あなたに言ったではないか。
ヨハネ 11・40
神の大能を覚え、信仰をもって
祈る者となる。

目標

11月3日(日)

聖書
聖句

ヨハネ 11・40

もし信じるなら神の栄光を見るで
あろうと、あなたに言ったではない
か。 40節

イエス様は、たくさんの奇跡を見せてくださ
るでしょう？ 足の悪い人、目の見えない人、耳
が聞こえない人…そういう人が治ったのはど
うしてだと思ふ？ ただその人がかわいそうだ
から？ それもあったかもしれないね。でも、
イエス様は「神様の栄光を見る」ため！ と教えて
くれているよ。

イエス様の奇跡を見て、全世界をつくり、わ
たしたちをつくられた神様って、本当にすばら
しい！ と全身で感じ、すべてのことを神様に
感謝できるようにして下さったんだね。

いの
祈り

天のお父様、あなたのすばらしさを、わ
たしも体験できますように。

11月4日(月)

聖書
聖句

ヨハネ 11・32～34

主よ、もしあなたがここにいて下
さったなら、わたしの兄弟は死なな
かったでしょう。 32節

「死んだら終わり」「死んだらどうなっちゃうの」「死ぬのが怖い」とよく聞きます。

まさか、死んだ人まではだめだろう…イエス
様が病気を治してくださることを知っていた
マルタでさえ、そうだったんだ。それくらい死
というものは人の心を悲しませ、くじけさせ
てしまうものだよ。

そんな、死の力に、イエス様は怒り、立ち向
かわれたんだ。人は死んで終わりではない。
復活されたイエス様が勝利のしるし！

いの
祈り

天のお父様、イエス様の復活が死への
勝利のしるしだと信じます。死を恐れな
い、いいことを感謝します。

11月5日(火)

聖書
聖句

ヨハネ 11・35

イエスは涙を流された。 35節

イエス様はなんでもできるんだから、泣いたり
しないよねと思っていた人はびっくりし
ちゃうよね。でもそうじゃないんだね。

イエス様の涙はいろんなことを教えてくれ
るよ。イエス様が人をどんなにふかく愛してく
ださるか、人の心を絶望させる死をどんなに
悲しみ怒られたか。イエス様がどんなにふかく
人の心をわかってくださるか。

傷ついた心にも、本気で向き合ってくれる
イエス様だからこそ、わたしたちも、本気で心
の思いをぶつけてもいいんだよね！ イエス様
ありがとう！

いの
祈り

天のお父様、イエスさまが本気で人の
心に向き合ってくれるから、わたしも
本気で信じていけます。

11月6日(水)

聖書
聖句

ヨハネ 11・36～37

あの盲人の目をあけたこの人でも、ラザロを死なせないようには、できなかったのか。 37節

イエス様がわからない、イエス様を信じていない人は「ほらね、できないじゃん」「なんだインチキか」と言うものです。それはね、心の目がくもっていて、本当の神様の思いが見えていないから。イエス様が十字架についたときもそう。「お前が神の子ならおりてくればいい」と言ったのです。

でも、神様の心は、十字架にイエス様がついて、わたしたちの罪の身代わりに死んで、そして、罪にも死にも勝ったことを知らせたかったよね。くもらない心、イエス様を信じる心で、一つ一つの出来事を見ようよ！

いの
祈り

天のお父様、くもらない、イエス様を信じる心で物事を見られますように。

11月7日(木)

聖書
聖句

ヨハネ 11・38～39

石を取りのけなさい。 39節

イエス様の時代のお墓は、亡くなった人の体を石の洞穴の中に入れ、重い石のふたでとじるものでした。重たいふたをしておかないと獣が食べに来たり、においもするかもしれない。だれも開けたいなんて思わないよね？

あなたにも開けたくない「重い心のふた」あるんじゃない？ 開けたらドロドロした、見たくない、いやなものが出てくる気がして…

でも、イエス様は「石を取りのけなさい」と言われるのです。心のふたをとりのけて、生き返ったラザロをみるくらいすばらしいことを、あなたも体験できますように。

いの
祈り

天のお父様、ずっとふたをしてきた心のふたをわたしもとりのけて、あなたがしてくださるすばらしいことを見られますように。

11月8日(金)

聖書
聖句

ヨハネ 11・41

父よ、わたしの願いをお聞き下さったことを感謝します。 41節

お祈りってどうすればいい？ の、いちばんのお手本はやっぱりイエス様！

こんなふうにお祈りするんだよ、こうお祈りしてごらん。とやさしく教えてくださいます。

どんなに目の前に、むずかしい、たいへんなできごとが起きていても、イエス様は神様をうたがうことはありません。かならず神様はこたえ、一人ひとりにいちばんすばらしいことをしてくださるし、ずっとそうだったと知っているからです。

神様にすべておまかせしてお祈りするとき、自分だけががんばる以上のことを、神様にしてくださるよ。

いの
祈り

天のお父様、イエス様のお祈りのお手本をありがとうございます。

11月9日(土)

聖書
聖句

ヨハネ 11・42

あなたがわたしをつかわされたことを、信じさせるためであります。 42節

イエス様が神の子なら、しるしをみせてよ！ と人は言います。だから、イエス様は、神の子にしかできないことをたくさんされました。でも、やっぱり、信じない人は、何をやっても信じないものです。

同じように、あなたのことを、まわりの人は「ほんとに神様の子ども？」という目で見ているもの。「わたしが神様の子どもであることが、まわりの人にもよくわかりますように。そのことで、神様を信じる人がもっと増えますように」と祈ってみてください。

いの
祈り

天のお父様、そう祈ることで、わたしも、まわりの人も変えられていきますように。



聖書
テーマ
暗唱聖句

黙示録1・9～20

パトモス島での幻

わたしは初めてであり、終りであり、また、生きている者である。

黙示録1・17～18

目標

困難の中でも世界の歴史を支配しておられるキリストを信じて生きる。

11月10日(日)

聖書
聖句

黙示録1・9

わたしヨハネは、神の言とイエスのあかしとのゆえに、パトモスという島にいた。 9節

今週は、イエス様が天にのぼられてから60年くらいあとの話。80才はすぎた弟子のヨハネが登場！当時、クリスチャンはローマという国に迫害されていました。何も悪いことをしていないのに、イエス様を伝えるだけで、つかまってしまうのです。それでヨハネは、パトモス島に島流しにされてしまいました…。

でも、ヨハネの心にはいつも天国への希望がありました。何があっても天国があるから、だいじょうぶ。ヨハネは、おそれないでイエス様を伝えつづけたのです。

いの祈り

天のお父様、わたしもおそれずイエス様を伝えたいです。いつも天国への希望を持って歩むことができますように。

11月11日(月)

聖書
聖句

黙示録1・10

ところが、わたしは、主の日に御霊に感じた。そして、わたしのうしろの方で、ラッパのような大きな声がするのを聞いた。 10節

島流しにされたヨハネは、毎日、むりやり働かされていました。80才をこえているのですから、ヘトヘトなんてもんじゃありません。

「ところが」。そんな状況で、聖霊がヨハネにのぞまれました。神様がラッパの音のように大きな声で、ヨハネを呼ばれたのです。ヨハネの使命は、まだおわっていませんでした。わたしたちは、どんな状況でも、何才になっても、天国に行くまで神様からの使命があるのです。おじいちゃんヨハネ、大忙し。

いの祈り

天のお父様、わたしにも、天国に行くまで使命があると知りました。わたしを用いてくださることを感謝します。

11月12日(火)

聖書
聖句

黙示録1・11～12

その声はこう言った、「あなたがみていることを書きものにして…七つの教会に送りなさい」。 11節

「あなたがみていることを書きものにして、七つの教会に送りなさい」！ヨハネが声のするほうを見ると、七つの金の燭台が見えました。この七つの燭台は、七つの教会をあらわしていました。ヨハネとおなじく、迫害でくしめられている教会でした。そんな教会をはげますため、神様はヨハネにメッセージを送られたのです。

神様は、神様を信じるわたしたちをほうつてはおかれませんか。いつもはげましたい、と思っております。

いの祈り

天のお父様、あなたはほんとうに優しい愛の神様です。わたしをいつもはげましてくださり、ありがとうございます！

11月13日（水）

聖書
聖句

黙示録1・13～16

それらの燭台の間に、足までたれた上着を着、胸に金の帯をしめていた人の子のような者がいた。 13節

ヨハネが燭台のあいだを見ると、「人の子のような者」が…。この方は、なんとイエス様なのです！ 胸に金の帯をしめていたり、髪の毛は雪のようにまっしろ、目は炎のよう…とか、しょうじき、言葉であらわすのがむずかしいくらい、光りかがやいて、力づよくて…！

でも、これはイエス様のほんとうのお姿をあらわしています。イエス様は罪をさばき、悪をほろぼし、すべてを支配される、まことの神様なのです。わたしたちは、ものすごいお方を信じているのです！

いのちの祈り 天のお父様、イエス様こそ、まことの神様です。こんなに力づよいお方がいてくださるので、はげまされます！

11月14日（木）

聖書
聖句

黙示録1・17～18

恐れるな。わたしは初めであり、終りであり、また、生きている者である。 17～18節

イエス様の、あまりにもすごいお姿に、ヨハネは倒れこんでしまいました。するとイエス様は、ヨハネの上に手をおいて、「恐れるな。わたしは初めであり、終りであり、また、生きている者である」と言われました。

イエス様は世界のはじまる前からおられ、世界の終わりもイエス様が支配しておられるのです。世界ではいろんなこわいことや、不安になることがおこるけど、イエス様はぜんぶわかってくださっています。イエス様は人間の歴史をみちびいてくれています。

いのちの祈り 天のお父様、イエス様が世界のすべてを支配してくださっているので安心できます、感謝です！

11月15日（金）

聖書
聖句

黙示録1・18

わたしは死んだことはあるが、見よ、世々限りなく生きている者である。そして、死と黄泉とのかぎを持っている。 18節

イエス様は、わたしたちの罪の身がわりに十字架のうえで死なれました。しかし、三日目によみがえり、永遠に生きておられます。

そして、今回のちゅうもくは「死と黄泉とのかぎ」をもっておられること。黄泉というのは、イエス様を信じなかった人が行くところ。イエス様は人間の罪を正しくさばき神様です。イエス様だけが、わたしたちが天国にいくのか、滅びにいくのか、きめるお方。世界中の人々をさばかれる日が、かならず来るのです。

いのちの祈り 天のお父様、イエス様の十字架はわたしの罪のみがわりと信じます。さばきの日に、わたしを天国にみちびいてください。

11月16日（土）

聖書
聖句

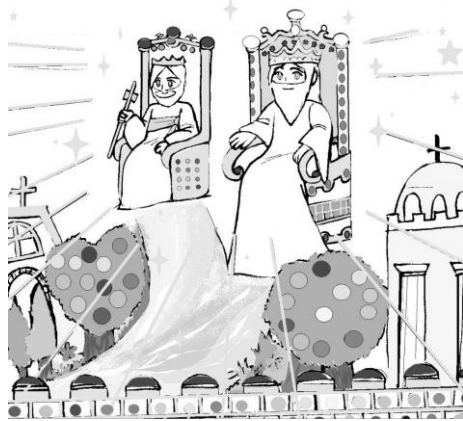
黙示録1・19～20

そこで、あなたの見たこと、現在のこと、今後起ろうとすることを、書きとめなさい。 19節

ヨハネの使命は、イエス様が見せてくださることを書きとめることでした。しかも、これから起こることまで、イエス様は見せてくださるということです。これから、つらいこと、不安なことがおこっても、恐れなくてイエス様だけを信頼するためです！

あなたの人生にも、これからつらいこと、不安なことが起こってくるでしょう。でも、世界も、あなたの人生も、イエス様が支配しておられることを思い出して。イエス様を信頼していけば、ぜったい乗りこえられるのです。

いのちの祈り 天のお父様、どんなときも、すべてを支配されるイエス様を信頼してあゆんでいきます。



聖書
テーマ
暗唱聖句

黙示録21・22～22・5
神の国の完成
神の栄光が都を明るくし、小羊
が都のあかりだからである。

目標

黙示録21・23
神の国の光景の素晴らしさを知
り、キリストを信じて、そこに入
る者となる。

11月17日(日)

聖書
聖句

黙示録21・23
神の栄光が都を明るくし、子羊が
都のあかりだからである。 23節

「おわり」ときくと、なんだかさびしく、か
なく、つらい気持ちになる人はいますか？
聖書も、世界の「おわり」をおしえているね。

でも、このおわりは新しい、えいえんの世界
の「はじまり」なんだって！ そこには、罪も、
くらやみも、悪魔も、くるしみや涙もなく、
ただ、きよい神様と、イエス様と、えいえんの
いのちをもらった人たちだけがいるんだって。

あたらしい世界に行くかどうかは、あなたも
きめられるよ。それは、イエス様が十字架で、
あなたの罪のみがわりになって、死んでよみが
えられたことを信じ、いつもイエス様といっ
しょに生きていくことによるのです！

祈り

天のお父様、イエス様の十字架とよみが
えりを信じて新しい世界に行きます。

11月18日(月)

聖書
聖句

黙示録21・22
全能者にして主なる神と子羊とが、
その聖所なのである。 22節

目には見えないけれど、わたしたちを愛し、
守り、いっしょにいてくださる神様！ そんな
神様と、あなたは毎日お話していますか？ ま
た、どうやってお話していますか？

お祈りの中で？ 聖書をよむとき？ 賛美す
るとき？ それから教会に行くときは、神様の
ところへ行ったような気持ちになるよね。

でもね、神様の新しい世界が来ると、教会
なんてないんだって。だって、神様がそこにい
て、えいえんに神様のところにいられるから。

神様の目の前で礼拝し、お話できるなんて、
すごいことだね！

祈り

天のお父様、あなたの新しい世界で、
あなたの近くにえいえんにいられる日
が早く来ますように。

11月19日(火)

聖書
聖句

黙示録21・24～26
人々は、諸国民の光栄とほまれとを
そこに携えて来る。 26節

神様のところにはどんな人たちがやってく
るのでしょうか？ むかしは、イスラエルの人たち
だけ救われて神様のところに行くって思われて
たんだ。でもね、イエス様が地上に来てくだ
さって何もかもが変わったのです。何もかも！

どの世界に住んでいる人も、どんな生き方を
してきた人も、罪の中で苦しんでいた人も、罪
をおわびし、イエス様の十字架を信じて、心を
神様に向けて生きるとき、いつかやってくる
新しい世界へ、むねをはって「わたしは救わ
れました！」とやってくることができるのです。

そうできる道を開いてくださったイエス様
の救いはなんてすばらしいんでしょうね！

祈り

天のお父様、イエス様といっしょに、心
をあなたに向けてあゆみます。

11月20日（水）

聖書
聖句

黙示録21・25

都の門は、終日、閉ざされること
はない。 25節

あなたのおうちでは、夜ねむるときや、ひとり
でるすばんをするとき、げんかんのカギをガ
チャン！ とかけますか？ それはなんで？ そ
れは、外には悪い人やどろぼうがいて、おうち
に入ってきたらたいへんだからだよ！ でも、
神様の新しい世界はいつも門が開いたまん
まって！ え～だいじょうぶなのかなあ？

そう、新しい世界がやってきたとき、悪魔も、
わたしたちがこわがるものもぜんぶ、神様が
処分してくださってるんだって。そのときには、
わたしたちの心の中にまで入ってきていた
悪魔や罪ともたたかわなくてよい世界になる
んだね。神様のご計画のすばらしさ！

いの
祈り

天のお父様、悪魔も、罪もない、新しい
世界のご計画を感謝します。

11月21日（木）

聖書
聖句

黙示録21・27

しかし、汚れた者や、忌むべきこと
及び偽りを行う者は、その中に決
してはいれない。 27節

学校に行くときには、いつも教科書や運動着
をもって、忘れ物をしないようにでかけるよ
ね？ それは、学校に行くならあたりまえのこ
とだからと思うよね？ じゅんぴは大切なんだ。

神様の新しい世界に行くのにも、大切な
じゅんぴがあるよ。そこには罪が入っちゃいけ
ない！ 絶対のこと！ 神様はあなたを愛して
いても、罪があるままでは、迎えられないんだ。

その罪の心をとりぞくためにイエス様は
十字架で死んでくださったのです。それを信じ、
罪の生活をすてて生きること、これが新しい
世界に行くための大切なじゅんぴなのです。

いの
祈り

天のお父様、罪をすてて生きる、という
大切なじゅんぴをしていきます。

11月22日（金）

聖書
聖句

黙示録22・1～2

その実は毎月みのり、その木の
葉は諸国民をいやす。 2節

新しい神様の世界では、都の真ん中にいの
ちの水の川がながれ、川のほとりにはいのちの
木があるんだって！ その川はね、わたしたち
を造られ、愛し、ゆるし、生かしてくださる、
神様からながれてくるよ。

人の心や魂は、いつも「わたしを愛して
くれないかなあ、あの人がわたしに良くしてく
れないかなあ」とカラカラにかわいてます。

でも、神様のいのちの水をのみ、その実をた
べ、そのしげみに憩う人は、心の傷もすっか
りなおし、神様の愛やゆるしやいのちでいっぱい
になって、それがえいえんにあふれでるよ！

いの
祈り

天のお父様、あなたの水と実と葉でいや
されて、いのちや愛やゆるしで満たされ
る日が、わたしにも来ますように。

11月23日（土）

聖書
聖句

黙示録22・3～5

その僕たちは彼を礼拝し、御顔を
仰ぎ見るのである。 3～4節

むかしの考えでは、神様の顔を見たら、そ
の人は死ぬと言われていました。そう、罪のせ
いかい、罪にまみれて生きているわたしたちが、
愛と聖さしかない神様と顔をあわせるなんて
とんでもないこと！ それでも、聖書や毎日の生
活の中で、神様がどんなお方か、すこしずつわ
かるようになってきたね。

でもね、新しい世界ではちがうって！ 顔と
顔をあわせて神様に会うって！ イエス様によ
って罪はぜんぶとりさられ、よろこびいっぱい
神様を礼拝できるんだ！ そのとき、ああ、神
様はこんなにもすばらしいお方だったんだ、と
はつきりわかるようになるだろうね！

いの
祈り

天のお父様、よろこびいっぱいあなたの
顔を見られる日をまち望みます！

しゅうかくかんしゃ
収穫感謝



聖書
テーマ
暗唱聖句

使徒14・8～18
ルステラでの宣教
食物と喜びとで、あなたがたの
心を満たすなど、いろいろのめ
ぐみをお与えになっているので
ある。使徒1・17

目標

世界を治め、食物を備えてくだ
さる真の神を信じる。

11月24日（日）

聖書
聖句

使徒14・8～10
大声で「自分の足で、まっすぐに立ち
なさい」と言った。すると彼は踊り上
がって歩き出した。10節

今日は収穫感謝の日ですね。毎日のお食事
をかならず神様に感謝しましょう。感謝すべき
神様を知っているというのは、ほんとうにすば
らしいことです。

パウロとバルナバが、ルステラに来たときの
こと。生まれつき歩けない人が、パウロのお話
を聞いていました。この人は真の神様がおら
れることを知って信じました。パウロがその人
に「自分の足で、まっすぐ立ちなさい」と言う
と、なんとその人は歩き出しました！ 真の
神様を知るって、ほんとうにすばらしい。

いのちの祈り 天のお父様、わたしはあなたが真の神様
だと知っています！ 日々の食事をありが
とうございます！

11月25日（月）

聖書
聖句

使徒14・11～13
ふたりに犠牲をささげようと思って、
雄牛数頭と花輪とを門前に持ってきた。
13節

生まれつき歩けない人が、歩けるようになった！
人々はおどろいて「神々が人間のすがた
になって、わたしたちのところにきたのだ
～！」と叫びました。たいへん、パウロとバル
ナバが神様だとかんちがいています。偶像
礼拝をするゼウス神殿の祭司が、犠牲をささげ
ようと雄牛や花輪をもってきたのです。

日本でもそう、人でも物でも、なんでもすぐ
神様にしてしまいます。つい、いっしょに
「神！」って言いそうになるけど気をつけて。
ほんとうの神様以外は「神」とよばないように。

いのちの祈り 天のお父様、神様はあなただけです。ほか
のものを神とよばないように、わたしの
心と言葉をにおまもりください。

11月26日（火）

聖書
聖句

使徒14・14～15a
皆さん、なぜこんな事をするのか。
わたしたちとても、あなたがたと同
じような人間である。15節

パウロとバルナバは、自分たちが神様にさ
れて犠牲がささげられると聞いて、真っ青に
なって自分たちの上着を引きさき、人々のと
ころに行きました。そして、「なぜこんなこと
をするんですか！ わたしたちは、あなたがたと
同じ人間です！」と必死で話しました。

歩けない人を歩けるようにしたのは、神様の
力です。パウロとバルナバの力ではありません。
パウロたちは、自分たちがほめられる
のではなく、神様だけがほめたたえられる
ことを願っていたのです。

いのちの祈り 天のお父様、わたしがほめられるのではなく、
神様だけがほめたたえられますように。

11月27日(水)

聖書
聖句

使徒14・15

…すべてのものをお造りになった生ける神に立ち帰るようと、福音を説いているものである。 15節

ルステラの人々は、たくさんの偶像を拝んでいました。それらはみんな、人間がつくった偽者の神々です。しかし、わたしたちが信じているお方は、人間をつくってくださった神様ですよね！ 天と地と海と、その中にあるものぜんぶを、神様がつくられました。パウロたちは、偽者の神を信じないで、真の神様を信じてほしい、と必死で伝えたのでした。

本物じゃなくても、気にせずなんでも拝んでしまうのが日本。すべてをつくられた真の神様をしってほしいですね！ 祈ろう、伝えよう！

いの
祈り

天のお父様、天地をつくり、わたしたちもつくってくださった真の神であるあなたを、伝えていけますように。

11月28日(木)

聖書
聖句

使徒14・16

神は過ぎ去った時代には、すべての国々の人が、それぞれの道を行くまにしておかれたが、 16節

神様は、まずイスラエルを選んで、神様の存在を教えてくださいました。イスラエルをとおして、ほかの国々も神様を知るためです。でも、ほかの国々はじぶんかつてに神様をつくって拝んで、真の神様を知ろうとはしませんでした。

でも、神様はそんな国々を、どうでもいいや…と思っておられたのではありません。ずっとずっと忍耐してくださっていたのです。わたしたちが神様を信じていない時も、信じるまで、ずっと忍耐してくださっていました。

いの
祈り

天のお父様、わたしがあなたを信じるまで、ずっと忍耐させたことを、おゆるしください。ほんとうにありがとうございます！

11月29日(金)

聖書
聖句

使徒14・17

食物と喜びとで、あなたがたの心を満たすなど、いろいろのめぐみをお与えになっているのである。 17節

神様を知らない人々、信じない人にも、神様は雨をふらせてくださいます。それは、神様がいることを人々が知るためなのです。

なんで雨がふるんだろう。どうして季節があつて、食べ物のとれるんだろう。そうだ、きっと神様がおられるにちがいない。…そう気づいてくれたら、神様はどんなによろこばれることでしょう。気づいてほしい…神様はそう願って、今も雨をふらせ、食べ物をあたえつづけておられます。

いの
祈り

天のお父様、雨も季節も食べ物も、みんなあなたがくださっています。どうか、あなたに気づく人がおこされますように。

11月30日(土)

聖書
聖句

使徒14・17～18

こう言って、ふたりは、やっとのことで、群衆が自分たちに犠牲をささげるのを、思い止まらせた。 18節

パウロとバルナバを神様だと思いこんでいる人々をとめるのは本当にたいへんで、やっとのことで犠牲をささげるのをやめさせたのでした。ふ～、やっとわかってくれた…、ヘトヘトだったでしょう。

偶像礼拝をする国で真の神様を知ってもらうのは、なかなかわかってもらえなくて大変なことがよくあります。教会の仲間どうしではげましあい、あきらめないで祈っていきましょう。あなたをとおして、真の神様がわかった！という人が、きっと起こされますよ！

いの
祈り

天のお父様、わたしがあきらめないで、真の神様であるあなたを伝えていけますように。わたしをどうか用いてください。

I アドベント



聖書
テーマ
暗唱聖句

ルカ 1・8～25、57～66

答えられた祈り
恐れるな、ザカリヤよ、あなたの祈りが聞きいれられたのだ。

目標

ルカ 1・13
祈りが聞かれたとき、素直に受け止める信仰を持つ。

12月1日（日）

聖書
聖句

ルカ 1・8～25、57～66

恐れるな、ザカリヤよ、あなたの祈りが聞きいれられたのだ。 13節

神のみ子、救い主イエス様の誕生の時には、いろいろな不思議なことが起こりました。きょうの所もその一つです。イエス様のために道を備えたバプテスマのヨハネの両親、特に父ザカリヤに起こったことです。彼が主の聖所にはいつて香をたく務めをしていると、突然（！）主の御使が現れて、「あなたの祈りが聞きいれられたのだ。あなたの妻エリサベツは男の子を産むであろう」と言います。「え？ こんな老人たちに！？」疑うザカリヤは物が言えなくなりました！

祈り 天のお父様、祈りが聞きいれられたという御使の言葉を信じるべきでした。ちゃんと祈りが聞かれたら信じられますように。

12月2日（月）

聖書
聖句

ルカ 1・5～7

エリサベツは不妊の女であったため、彼らには子がなく、そしてふたりともすでに年老いていた。 7節

神様にお仕えしていた祭司ザカリヤと奥さんのエリサベツのことです。ふたりとも神様を第一におそれ、きっちりと神様の戒めに従っていた立派な人たちでした。ただ一つ、気になっていたのは子どもがいないということだったのです。ユダヤでは妻が子を産まないということは恥ずかしいこととされていました。きつとふたりは真面目に必死でお祈りしたことでしょう。ところがふたりともどんどん年を取り、老年になっていました。もう無理なのでしょう

祈り 天のお父様、お祈りしてもお祈りしても全然何も起こらないことがあります。それでもお祈りしていきます。

12月3日（火）

聖書
聖句

ルカ 1・8～20

時が来れば成就するわたしの言葉を信じなかったから、あなたは口がきけなくなり、この事の起る日まで、ものが言えなくなる。 20節

主の聖所にはいつて香をたく務めは一人の人の一生に一度あるかないかくらいのことでした。その時、主の御使がザカリヤに現れて、「あなたの祈りが聞きいれられたのだ」と言われ、「エリサベツが産む男の子をヨハネと名づけなさい」と言われるではありませんか！ お祈りしていたのに、祈りが聞かれたのに、「どうしてそんな事が」と信じられなかったザカリヤでした。とうとう十ヶ月間何も話せなくなりました！

祈り 天のお父様、いきなり、あなたが祈りを聞いてくださる時、しっかりと感謝して受け止められますように。

12月4日（水）



ルカ 1・21～25

主は、今わたしを心にかけてくださって、人々の間からわたしの恥を取り除くために、こうしてくださいました。 25節

「ザカリヤさん、なかなか出て来ないね」。やっと出て来たと思ったら、今度は物が言えません！「きっとまぼろしでも見たにちがいないよ」と言う人々に、ザカリヤは手で合図するだけで一言も話せません。務めの期間も終り、ふたりで家に帰りました。しばらくして、奥さんのエリサベツはみごもりました！五カ月の間静かに引きこもっていましたが、「主が今わたしを心にかけてくださいました」と、心から恥を取り除いてくださった主をほめたたえました。

いの祈り てんのお父様、あなたは本当に真実にお祈りにこたえてくださるお方です。信じぬいて祈り、感謝できますように。

12月5日（木）



ルカ 1・57～61

いいえ、ヨハネという名にしなくてはいけません。 60節

「ホギヤー、ホギヤー！！」とうとうエリサベツが出産の日を迎え、彼女は御使がザカリヤに告げたとおりに、男の子を産みました！近所の人々や親戚の人々は、神様が大きなあわれみをかけてくださったことを知り、共に大いに喜びました。八日目に、その子に割礼という儀式を行いました。人々は、父ザカリヤの名と同じ「ザカリヤ」という名にしようとしたら、母エリサベツは御使がザカリヤに告げたように「ヨハネ」にしますと言いました。

いの祈り てんのお父様、ザカリヤはちゃんと大切なことをエリサベツに伝え、ふたりとも守っていったことがよくわかります。

12月6日（金）



ルカ 1・62～66

「その名はヨハネ」と書いたのも、みんなの者は不思議に思った。 63節

母エリサベツが「ヨハネにしなくてはいけません」と言うと、人々は、「あなたの親族の中には、そういう名のついた者は、ひとりもいません」と彼女に言い、「じゃ、父親に聞こう」ということで、合図でたずねました。彼は書板を持ってこさせて、それに、「その名はヨハネ」と書いたのです。みんなはまたまた不思議に思いました。すると次の瞬間、ザカリヤの口が開けて舌がゆるみ、語り出して神をほめたたえたのです！不思議つづきでした。

いの祈り てんのお父様、今でもあなたのみ言葉のおりに従って進む者のために、不思議をなしてください感謝します。

12月7日（土）



ルカ 1・67～80

幼な子よ、あなたは、いと高き者の預言者と呼ばれるであろう。 76節

あなたももしかして、何日かのどが痛かったりして、物が言えなかったことがありますか？普通に物が言えるようになるとうれしかったでしょう？ザカリヤは何しろ十カ月だったのですから、口が開かれて、大いに神様を賛美し、預言して言いました。「父ザカリヤは聖霊に満たされ、預言して言った」（67）とある通りです。神様から与えられた男の子、その名はヨハネと名付けられて、「あなたは、いと高き者の預言者と呼ばれるであろう」と預言しました。

いの祈り てんのお父様、ザカリヤの底抜けの喜びとたましいの感動が伝わってきます。どこまでも神様の言われるように生きたいです。

Ⅱ アドベント



聖書
テーマ
暗唱聖句

ルカ 1・67～80

ザカリヤの讃歌

生きている限り、きよく正しく、
みまえに恐れなく仕えさせてく
ださるのである。

ルカ 1・75

目標

救われた者として喜びをもって
神に仕える者となる。

12月8日（日）

聖書
聖句

ルカ 1・67～68

主なるイスラエルの神は、ほむべき
かな。 68節

今週は、ザカリヤの賛美と預言を読んでい
きます。

先週は、ヨハネ誕生ものがたりでしたね！
年をとったザカリヤに、ほんとうに赤ちゃんが
あたえられるなんて。ザカリヤは神様のすばら
しさを体験したので、神様を心からほめたた
えました。神様を賛美せずにはいられませんで
した。神様がどんなにすばらしいお方か体験す
ると、わたしたちは神様を賛美せずにはいられ
なくなるのです。賛美は、わたしたちから神様
への、ささげもの。力いっぱい賛美しましょ
うね。

いの
祈り

天のお父様、あなたのすばらしさをもっと
体験させてください。あなたを心から賛美
しながら歩めますように。

12月9日（月）

聖書
聖句

ルカ 1・69～71

わたしたちのために救の角を僕ダ
ビデの家にお立てになった。 69節

ザカリヤが、まずはじめに預言したことは、
救い主イエス様のことでした。「救の角」って
イエス様のこと。イエス様がお生まれになった
のは、わたしたちがイエス様の十字架と復活に
よって、悪魔の支配から救われるためです。

しかも、イエス様が生まれることは、昔から
預言者たちによってなんども語られてきた
ことでした。神様は「救い主を送るよ！」とな
んども語ってこられました。神様が、どれほど
わたしたちを救いたいと願っておられたこと
か。神様が願っておられたことが、ついに起こ
るよ！とザカリヤは預言したのです。

いの
祈り

天のお父様、あなたがわたしを救いたいと
願っておられるとわかりました。イエス様
を送ってくださり感謝でいっぱいです。

12月10日（火）

聖書
聖句

ルカ 1・72～73

すなわち、父祖アブラハムにお立て
になった誓いをおぼえて、 73節

神様は、約束はぜったいに守ってくださる
お方です。イスラエルを救ってくださる、
祝福してくださると約束されたのは、なんと
アブラハムの時代！それから、イエス様がお
生まれになるまで、イスラエルはなんども
神様との約束をやぶり悲しませました。「この
約束はなかったことに！」と言われてもしか
たないのに、神様はそうされませんでした。

神様が約束を守ってくださるお方なので、
わたしたちはイエス様によって救われたので
す。約束がなしになったら、わたしたちは永遠
の滅びにいくしかなかったのです。

いの
祈り

天のお父様、なにがあっても約束を守られ
たあなたの愛に感動します。わたしを滅び
から救ってくださり、感謝します！

12月11日（水）



ルカ 1・74～75

生きて^いいる^{がき}限り^{ただ}、きよく^{ただ}正しく^{ただ}、み
まえに^{おそ}恐れなく^{つか}仕えさせて^さくださる^さ
のである。 75節

神様の約束はさらにつづきます。それは、わたしたちが神様に仕える人になる、という約束です。イエス様を信じたら、後はなにもしなくてオッケーではないのです。イエス様によって救われた人は、神様に仕える人になるのです。

あなたが生きて^いいる^ああいだ、よろこんで仕えることができるように、神様が力をくださいます。自分の力では、一生よろこんで神様に仕えるのはむずかしいですよ。でも、神様が力をくださると約束してくれていますから、ぜったいだいじょうぶです。

いのり 天のお父様、これからはよろこんであなたに仕えていきます。あなたがその力をくださると信じます。

12月12日（木）



ルカ 1・75～77

主のみまえに先立って行き、その道を備え、罪のゆるしによる救をその民に知らせるのであるから。 76～77節

ヨハネは、人々に洗礼をさずけるバプテスマのヨハネとなります。「罪を悔いあらためなさい！これから、罪のゆるしをあたえてくださる救い主がくるよ！」と語りました。人々が悔いあらためて、イエス様を信じることができるようになり、使命があったのです。

人間をいちばん不幸にして、滅びへむかわせるのが罪です。イエス様は罪からの救い主！あなたも、このいちばんたいせつなことを伝えられる人になってください。

いのり 天のお父様、イエス様はわたしを罪から救ってくださいました。このことをしっかり伝えていけますように。

12月13日（金）



ルカ 1・78～79

これはわたしたちの神のあわれみ深い
いみこころによる。 78節

わたしたちがイエス様によって救われたのは、神様があわれんでくださったからです。わたしたちは、どんなに良いことをしても、罪をなかつたことにはできません。人間の力では、罪をどうすることもできない。滅びるのをまつしかない、わたしたち。神様は「なんとしてでも救いたい！」と思ってくださったので、イエス様を生まれさせてくださったのです。

罪をおかしたのはわたしたちなのに、神様のほうから救ってくださいました。神様がどれほどあわれみ深いお方か、伝わってきませんか。

いのり 天のお父様、罪をどうすることもできないわたしを、あなたのほうからあわれんでくださいました。深いあわれみに心から感謝します。

12月14日（土）



ルカ 1・67～80

幼な子は成長し、その霊も強くなり、そしてイスラエルに現れる日まで、荒野にいた。 80節

赤ちゃんヨハネは、グングン成長しました。そして、イエス様のことを宣傳伝えられるようになるまで、だれもいない荒野ですごしたのです。だれにもじゃまされないで、神様とだけいっしょにすごして、自分の使命の準備をしたのでしょ。

ヨハネにはヨハネだけの使命がありました。あなたには、あなただけの使命があります。どんな使命かな。どんなふうに神様に仕えたいのかな。祈ってみましょう。神様に用いられる時が、かならずやってきます。

いのり 天のお父様、わたしの使命を教えてください。いつもお祈りして、神様に用いられるときを待ちます！

Ⅲアドベント



聖書
テーマ
暗唱聖句

ヨハネ 1・1～5、9～14
すべての人を照らす光
すべての人を照すまことの光
があつて、世にきた。

ヨハネ 1・9
目 標 光なるキリストを信じ受け入
れる。

12月15日(日)

聖書
聖句

ヨハネ 1・1～5・9～14
すべての人を照すまことの光が
あつて、世にきた。 9節

いよいよⅢアドベント、クランツのろうそく
が三本ともりました。クリスマスシーズンで、
目立つもう一つのことは、「光」ですね！ キヤ
ンドルの光、イルミネーションの光、星の光
です。24日のイヴには燭火礼拝をする教会
も多いでしょう。これは何を示しているかとい
うと、キリストは光として来られたということ
です。「すべての人を照すまことの光」として
ね。キリストこそまことの光で、心の影、罪を
示し、ゆるし、きよい心で正しい道を歩めるよ
うにしてくれます。

いの祈り 天のお父様、このクリスマスに、光なる
イエス様を信じ受け入れて、光の子とさ
れ、光の中を歩んでいきたいです。

12月16日(月)

聖書
聖句

ヨハネ 1・1～2
初めに言があつた。言は神と共に
あつた。言は神であつた。 1節

すべてのことには「初め」がありますね。あ
なたが教会に来たのはいつなのかな？ あな
たが「初めて」この世界に誕生したのが、あ
なたの誕生日ですね。この世界の「初め」っ
ていうのはどうだったのかな？ 「初め」に
言があつたということです。この言というのは
ギリシャ語では「ロゴス」と言って、実はイエ
ス様のことを指しているのです。「初め」にイ
エス様がいて、神様と共におられて、イエス様
も神様であつたということになります。

いの祈り 天のお父様、イエス様は神様であつて、あ
なたと共に世界のできるその前、「初め」
におられたと知りました。

12月17日(火)

聖書
聖句

ヨハネ 1・3
すべてのものは、これによってでき
た。 3節

おもちゃでもゲームでも何でも、「コレ、どう
やってだれが作ったのかな？」って思うでしょ
う。じゃ、「この世界、いや大宇宙、そしてその
中にあるすべてのもの——こう書くのは簡単だ
けど、大変な量だし、大変な種類だし、大変込
み入って複雑にできてますよ——はどうやって、
だれが作ったのだろうか？」と考えると・・・？
ここにパンッ！ と答えが記されています。すべ
てのものは、これ、もっとよい言い方は、この方
によって、つまりイエス様によってできたので
す！

いの祈り 天のお父様、イエス様がどんなにか力強
く、知恵に満ちたお方かわかり、感心し
てしまいます。学ばせてください。

12月18日（水）

聖書
聖句

ヨハネ 1・4～5

光 はやみの中に輝いている。そして、
やみはこれに勝たなかった。 5節

だれもいないまっ暗なお部屋にひとりで
入っていくのは恐いですか？「暗いろうかを
通って、ひとりでトイレに行くのも恐いよー」
という子もいるでしょう。その時、ライトがあ
るとパッと明るく照らしてくれて安心ですね。
暗いお部屋も電気をつけるとパッと明るく
なって、やみはなくなってしまいます。イエス
様は光です。罪のやみを追い払ってください
ます。やみの力、サタンの力もイエス様には
勝てません。光なるイエス様を信じると毎日
が勝利です。

いのちの祈り 天のお父様、命であり、光であるイエス
様をこの地上におつかわしください感謝
します。信じて従っていきます。

12月19日（木）

聖書
聖句

ヨハネ 1・9～11

彼は自分のところにきたのに、自分
の民は彼を受け入れなかった。 11節

あなたが「オギャーッ！」って生れた時、お父
さんもお母さんも、おじいちゃん、おばあちゃ
ん、お兄さん、お姉さんものとも喜んで、「ウ
エルカムー！」って、大歓迎だったにちがいは
ありません。お家の人に聞いてみてください。イ
エス様の時はどうだったでしょうね？残念な
がらウエルカムではありませんでした。ここで
自分の民と書かれているユダヤ人たちは、イエ
ス様を受け入れなかったばかりか十字架につけ
てしまいました。今も受け入れていないのです。

いのちの祈り 天のお父様、あなたのひとり子イエス様を
受け入れない人たちがいることを知りま
した。私は受け入れたいです。

12月20日（金）

聖書
聖句

ヨハネ 1・12～13

彼を受け入れた者、すなわち、その名
を信じた人々には、彼は神の子となる
力を与えたのである。 12節

しかし、がっかりすることはありません。光
なるイエス様を受け入れる人々、イエス様のお
名前、つまり救い主を信じる人々が次々と起
こってきているからです。あなたもその中の
一人ですか？そのような人々には、「神の子」
となる力、特権をイエス様が与えてくださ
るのです。すごいですね、「神の子」ですよ！血
すじとか、人間の欲とかによって生まれたの
ではなく、ただ純粋に神様によって生まれた「神
の子」なのです。父なる神様ありがとう！

いのちの祈り 天のお父様、あなたのひとり子イエス様を
信じ受け入れる時、私も神の子としてく
ださって、感謝いたします。

12月21日（土）

聖書
聖句

ヨハネ 1・14～18

それは父のひとり子としての栄光で
あって、めぐみとまこととに満ちてい
た。 14節

「言なるイエス様はね、私たちと全く同じ
肉体をもつ人となって、私たちの中に来てくだ
さったんだよ。でもねイエス様は栄光に輝いて
おられるんだ。まぶしくらいにね。それは輝
く天におられる父のひとり子としての栄光。そ
う、めぐみとまことに満ちた栄光なんだよ」と愛
の弟子ヨハネは言います。愛とやさしさと真実
がイエス様の中からあふれ出て、栄光に包まれ
ておられたのですね。私たちもみ言葉を心に
覚え、お祈りしてそんな人になりたいね。

いのちの祈り 天のお父様、イエス様のように、あなたの
栄光を輝かせていける、神の子として生
きていきたいと祈ります。

クリスマス



聖書
テーマ
暗唱聖句

ヨハネ 3・16～21

最高のプレゼント

神はそのひとり子を賜わったほどに、この世を愛して下さった。

ヨハネ 3・16

目標

救い主キリストを神からのプレゼントとして信じ受け入れる。

12月22日(日)

聖書
聖句

ヨハネ 3・16

神はそのひとり子を賜わったほどに、この世を愛して下さった。 16節

2019年のクリスマス、おめでとうございます！ きょうはクリスマス礼拝。その中で洗礼を受けるお友だちがいたら、二重におめでとう!! あとは、25日の朝が楽しみだなあと思っていますか？ クリスマス・プレゼントの朝ですものね。最高のクリスマス・プレゼントをもう受け取っていますか？ それは、神のひとり子、救い主イエス様のことです。このプレゼントを心から感謝して信じて受け入れてはじめて、クリスマスおめでとうと言えるのですね。

祈り 天のお父様、あなたからのクリスマス・プレゼントであるイエス様を、私の救い主として信じて受け取ります。

12月23日(月)

聖書
聖句

ヨハネ 3・16

神はそのひとり子を賜わったほどに、この世を愛して下さった。 16節

今週は、日曜日から金曜日まで、毎日同じ言葉です。しっかり心に刻めますね。み言葉のひとつひとつを味わいます。すべての言葉は、「最も偉大な」がつけられる言葉なのです。まずは『神』です。このお方は、「最も偉大な愛のお方」ですね。『神は愛である』というのが聖書の中心的なみ言葉です。愛をもって、世界を造り、私たちに人間をつくり、愛をもって、今も宇宙を支え、私たちひとりひとりをつなげていてくださいます。その愛は永遠です。

祈り 天のお父様、本当にあなたは、「最も偉大な愛のお方」です。あなたを信じる事ができて、本当に幸せです。

12月24日(火)

聖書
聖句

ヨハネ 3・16

神はそのひとり子を賜わったほどに、この世を愛して下さった。 16節

きょうの言葉は、『そのひとり子』です。これは「最も偉大な贈り物」です。あなたは何人兄弟、何人姉妹なのかな？ ふたり、3人、5人、7人！ それともひとりっ子？ 子どもがたとえ何人いたとしても、親にとっては、ひとりひとりがかけがえのない大切な存在なのです。それがもし『ひとり子』だったとしたら、どんなに大切なことか！ 神様にとってたったひとりの御子イエス・キリストを神様はプレゼントとしてくださいました。「最も偉大な贈り物」でした。

祈り 天のお父様、あなたにとっては本当にかかけがえのない大切な『ひとり子』をお与えくださって感謝いたします。

12月25日（水）

聖書
聖句

ヨハネ 3・16

神はそのひとり子を賜わったほどに、
この世を愛して下さった。 16節

きょうの言葉は、『賜わった』という言葉になりますね。ちょっと、古い言い方だけど、わかりやすく言えば『与えて下さった』ということです。これは、「最も偉大な行い」ということになります。う～ん、与えることより、やっぱり、与えられる、つまり、もらっちゃう方がいいなと、みんな考えるでしょう。クリスマスはプレゼントをもらう日、とね。そういう人々の考えの中で『与える』ということは本当に、「最も偉大な行い」なのです。

いのちの祈り 天のお父様、もらうことばかり考える私たちのために、あなたは最も偉大な行いをなさってください、感謝します。

12月26日（木）

聖書
聖句

ヨハネ 3・16

神はそのひとり子を賜わったほどに、
この世を愛して下さった。 16節

さて、きょうはまた次の言葉です。『この世』これは、「最も大きな数」と言えるでしょう。今まで地球上にいたすべての人々、全世界の人々、これからこの世に生れてくるすべての人々というのですから、ほんとうに最も多い数です。神様はすべての人を愛していてくださるのです。大切なひとり子を与えてくださるほどに。すべての人、そして、ひとり、ひとりです。『この世』の代わりにあなたの名前を入れて、きょうのみ言葉を暗唱してくださいね。

いのちの祈り 天のお父様、大勢の中で、かき消されそうですが、この「私」を愛していてくださることを信じられ感謝です。

12月27日（金）

聖書
聖句

ヨハネ 3・16

神はそのひとり子を賜わったほどに、
この世を愛して下さった。 16節

そして、『愛して』くださったのです。これは、「最も偉大な限度まで」の愛なのです。私たちが仲良くなり、好きになつたりするお友だちって、どんな子たちでしょう？ 私に親切にしてくれたり、やさしくしてくれるお友だちでしょう？ 神様は、どんな人間を愛して下さったのか考えてみたことがありますか？ 「神様なんか」って背中を向けたり、罪ばかり犯し続けている、そんな私たちを愛して下さるのです！ 最大級の犠牲を払って下さってね。

いのちの祈り 天のお父様、人間の中には本当の愛はありません。あなたが愛して下さって初めて愛を知ることができました。

12月28日（土）

聖書
聖句

ヨハネ 3・16

それは御子を信じる者がひとりも滅びないで、永遠の命を得るためである。 16節

最後に、『永遠の命』という言葉です。これは、「最も偉大な持ちもの」と言えます。あるいは、「最も偉大な命」です。あなたが「オギャー」と生れて、そのままの命だったら、その命は滅びていく命ですよ。でも、罪がわかって、イエス様の十字架が私の罪の身代わりだったんだと、罪をおわびして、イエス様を信じたら、その時、新しい神様の命、滅びない永遠の命、罪を犯せない清い命がもらえます。たとい一度死んでもよみがえる命ですよ！

いのちの祈り 天のお父様、何という驚くべき、あなたからのクリスマス・プレゼントでしょう！ 救い主イエス様を信じます。

ねんまつかんしゃ
年末感謝



聖書
テーマ
暗唱聖句

詩篇103・1～22
神の恵みを感じる
わがたましいよ、主をほめよ。
そのすべてのめぐみを心にとめよ。
詩篇103・2
一年間の神の恵みを感じ、神を賛美する者となる。

目標

12月29日(日)

聖書
聖句

詩篇103・1～22

わがたましいよ、主をほめよ。そのすべてのめぐみを心にとめよ。2節

神様を信じる人は、晴れてもアーメン、雨でもハレルヤ！ 今年最後の日曜日となりました。この一年間、いろんなことがあったでしょう。晴れの日も、曇りの日も、雨の日も、台風の日も、大雪の日も。そんな一年の内に、神様は私たちひとりひとりにどんなによくしてくださったことでしょうか？「主の良くしてくださったことを何一つ忘れるな」(新改訳)です。一つ一つ思い出し、感謝のお祈りをしましょう。心はあふれて思わずハレルヤ！ 主をほめよ、と叫ぶでしょう。

祈り 天のお父様、この一年もあなたの愛とめぐみをありがとうございます。たましいの底から感謝をささげます。

12月30日(月)

聖書
聖句

詩篇103・1

わがたましいよ、主をほめよ。わがうちなるすべてのものよ、その聖なるみ名をほめよ。1節

詩篇103篇の中で、「わがたましいよ、主をほめよ」と、三回も呼びかけています(1、2、22節)。「主をほめよ」という言葉のヘブル語が、「ハレルヤ」なのです。そしてここには、「わがうちなるすべてのものよ、その聖なるみ名をほめよ」とあります。もしかしたら教会の礼拝でさんびする時、口先だけでする時もあったかも。「うちなるすべてのもの」ですから、心も魂も全力あげてですね。「神様を精一杯ほめたたえることに集中するのだ！」と。

祈り 天のお父様、ただあなたのめぐみを思い、他のことは全部置いておいて心の底から思い切りあなたを賛美いたします。

12月31日(火)

聖書
聖句

詩篇103・3～5

あなたの生きながらえるかぎり、良き物をもってあなたを飽き足らせられる。5節

「神様、ごめんなさい」とおわびしなければならぬ時もあったでしょう。神様はその時、イエス様の十字架のゆえに、すべてゆるしてくださったでしょう。病気になって、痛かったり、不安でいっぱいになったこともあったでしょう。でも神様はすべての病気をなおしてくださったでしょう。私たちを罪から救って、あわれみの心を注いでくださいました。この神様は、私たちが地上に生きている限り、必要な良き物で身も心も満足させてくださいます。

祈り 天のお父様、こんなによくしてくださり、身も心も魂も満たしてくださるあなたをますます信頼していきます。

1月1日（水）



詩篇103・6～12

東が西から遠いように、主はわれらのとがをわれらから遠ざけられる。
12節

主の2020年明けましておめでとう！東から、朝になると明るい太陽が昇ってきます。夕方になると、とってもきれいな夕焼けの中を、赤い太陽が西へ沈んでいきますね。東と西、それは全く反対方向、東が西から遠いように、そう、東と西とは絶対に会うことはありません。ずっと、ずーっと遠く離れています。神様はそうのように、私が犯してしまった罪やあやまちを、私から遠ざけてくださるということです。「すごいなア、うれしいなア、ありがたいなア」としみじみ感心してしまいます。

いのり 天のお父様、あなたを信じる者のために、それほどまでして罪を遠ざけてくださることを、心から感謝いたします。

1月2日（木）



詩篇103・13～14

父がその子供をあわれむように、主はおのれを恐れる者をあわれまれる。
13節

お父さんにだっこしてもらったり、おんぶしてもらったり、ひざの上で遊んでももらったり、ひこうきしてもらったり、いろいろ思い出しますか？ お父さんは小さいあなた、あぶなっかしいあなたがかわいくてたまらなくて、目を細めて守っていてくれるのです。神様も、そんなお父さんのように、神様をうやまい恐れ、愛する私たちに、あわれみの心をかけて守ってくださいます。なぜなら、私たちは、ちりから造られた弱い者だからです。

いのり 天のお父様、この一年も、弱い私をあわれみ、いつも共にいて、守ってくださったことをありがとうございます。

1月3日（金）



詩篇103・15～19

主はその玉座を天に堅くすえられ、そのまつりごととはすべての物を統べ治める。
19節

今までのうちに、愛する人を天に送ったお友だちもいますか。人の一生って、ほんとにすぐ枯れる草や花のようだと思います。でも、神様を信じる信仰はいつまでも、とこしえまで、子らや孫らにと、その祝福が受け継がれていくので心が安らぎます。神様こそが、天の王座にお座りになって、天と地と、宇宙や世界、国々を、そして、人間を、この私をも（！）愛のまこころのままに治めていてくださいます。この主をほめたたえよう！

いのり 天のお父様、雄大なあなたのご支配の中に、この私の一生も入れていてくださることを覚え、ほめたたえます。

1月4日（土）



詩篇103・20～22

主が造られたすべての物よ、そのまつりごとの下にあるすべての所で、主をほめよ。わがたましいよ、主をほめよ。
22節

この年も、「わがたましいよ、主をほめよ」で始め、そして毎日それで過ごし、年の終わりもそれでしめくくれたらいいですね。そして、明日は、今年の最初の日曜日です。去年は、52回の日曜日のうち、何日教会へ行けたのかな？ 今年は、去年よりもっともっと神様に近づけますように。毎週のはじめに、「わがたましいよ、主をほめよ」と教会で賛美しましょう。

いのり 天のお父様、新しい年の始めに、あなたを心より礼拝し、ほめたたえて始められますことを感謝いたします。